

井川町教育委員会 11 月定例会会議録

1. 日時 令和 5 年 11 月 27 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

2. 場所 井川町農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	齋藤正仁
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局次長	若狹善友

5. 会議

（1）報告事項

- ①全県市町村教育委員会教育長会議について
- ②全県中学校秋季大会の結果について
- ③その他教育委員会・公民館・学校関係行事について

（2）協議事項

- ①令和 6 年度教職員定期人事異動方針について
- ②公設塾の開設について
- ③井川町総合教育会議について

（3）その他

6. 会議の経過

事務局長 今定例会の議事録署名員に遠藤委員、佐藤委員を提案。
（全員提案を了承）

進行を教育長に求める。

教育長 報告事項に入る。①全県市町村教育委員会教育長会議について齋藤委員から説明を求める。

委員 ①全県市町村教育委員会教育長会議について説明。
クマの対応、秋田活性化中学生選手権、教員の定数処遇改善の働き方改革、秋田県次世代校務支援システム共同調達共同利用、入試出願オンライン化、不登校児童生徒に対する支援の在り方、COCOL プラン等について話があり、教育委員会でも力を入れている授業の改善というところを突き詰めて行くことが良いのではないかと強く感じた。

教育長 ②全県中学校秋季大会の結果について事務局から説明を求める。

事務局長 全県中学校秋季大会の結果について説明。

教育長 ③その他教育委員会・公民館・学校関係行事について事務局から説明を求める。

事務局長 その他教育委員会・公民館・学校関係行事について説明。

教育長 続いて協議事項に入る。①令和 6 年度教職員定期人事異動方針について。長い勤務年数者の確保について県教委に申し出る方向でどうか。人事異動等ある場合は知識豊かな管理職や専門性の高いミドルリーダーの配置を働きかけていきたいと考えている。
(質問を求め、無い旨を確認。)

教育長 続いて②公設塾の開設について。今回は公設塾を開設する方向で提案をしたい。

委員 塾の目指す姿とあるが、このようになればとても良い。

委員 公設塾を開設する方向には賛成。その際、学校との関係が気になる。学校と教育委員会が敵対関係になってしまえば、子供達が巻き込まれて不幸な結果になる。学校と教育委員会で課題認識等を合わせ、出発点を同じくしないといけない。

教育長 先生方も一生懸命なので、色々な側面からお互いにやっていこうという説明を教育委員会から丁寧にしていきたい。

委員 自分から先生に聞けない子に手を差し伸べることをしないと二極化している学力は変わらないと思う。放課後子ども教室に来ている子供たちはその流れで公設塾に来る可能性は高いのではないかと
思う。

教育長 他の公設塾でも、親に行けと言われたから通っている子もたくさんいる。スタートはそれであっても、少しずつ変わったと成果が出ているので良いのではないかと。

委員 勉強に対しての考え方を親も子どももしっかりしていないと、勉強

する場を提供したとしても、先に繋がらなくなってしまう。対象が5年生から9年生だが、基本となるもう少し下の学年からにした方が先に繋がるのではないか。

委員 分かって当たり前ではなく、分からないはとてもいいことなのでそこを追究していく、というように変えていくことからやっていかなければいけない。塾に行くことで学びに対して刺激や変化をつけて、分からないところを聞いて自分で分かるようになり今までと違う感覚を持たせられるような塾であればいい。

教育長 子ども、保護者、先生方にしっかり説明して十分理解してもらった上で開設する方向でよろしいか。

全員 ～異議なし～

教育長 ③井川町総合教育会議については12月18日を予定している。公設塾について1年かけて議論してきた内容を町長に説明して意見をもらいたいと考えているがよろしいか。

全員 ～異議なし～

教育長 最後にその他で何か意見はないか。
無い旨を確認し、終了とする。